

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	飯尾 雅昭				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「子ども・子育て・家族について」考える。現代社会における子どもや子育てをめぐる問題は、社会情勢の変化や昨今の厳しい経済状況などで、多様で複雑なものとなってきている。児童養護は、多くの場合家庭を基盤にして、子どもの家族による養育としておこなわれている。しかし「児童養護」のすべてを家族が担えるわけではなく、社会的なサービスや支援などを活用することも重要である。保育実践演習Aでの学びをもとに考えを深め、最も関心のある題材を選び、子ども・家族を支えるために必要なことは何かを深め、実践できる力を身につける。

《参考図書》

必要に応じて資料などを配付する。

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 自分史の作成を通して家族について考える。
2. 子どもに関わる時事問題について探求し理解する。
3. 身近な題材（新聞・ニュース・雑誌・コミック・エッセイ等）を用いて、現代の子育ての事情を収集しまとめる。
4. 自分の関心のある研究テーマを設定し、研究論文としてまとめ、発表する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

授業態度（50％）・発表（30％）・提出物（20％）など総合的に評価する。

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	自分史の作成①	自分史について調べる。/これからの課題を明確にして、次の予習をしておく【30分】
2	自分史の作成②	自分史について調べて、家族について考える。/これからの課題を明確にして、次の予習をしておく【30分】
3	子ども・子育て・家族①	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析①/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
4	子ども・子育て・家族②	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析②/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
5	子ども・子育て・家族③	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析③/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
6	子ども・子育て・家族④	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析④/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
7	子ども・子育て・家族⑤	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析⑤/中間発表に向けて、これまでの課題を整理し発表する【30分】
8	中間発表会	子ども・子育て・家族に関わるまとめ・中間発表/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
9	卒業研究論文①	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
10	卒業研究論文②	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
11	卒業研究論文③	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
12	卒業研究論文④	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
13	卒業研究論文⑤	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
14	卒業研究論文⑥	【課題研究】資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成【90分】
15	研究発表会 まとめ	【課題研究】研究論文の作成/これまでの研究成果を発表し、意見交流する【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 A				
担当者氏名	川野 敬子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「どの子どもみんな持っている素晴らしい宝を掘り出すことが保育者・教師の務めである」と考える。そのためには、子ども理解ができる専門性やこの子のために何ができるかを探求したいという保育者としての子どもへの思いを育むことが大切になる。前期では特別支援の対象となる子ども達の特性を理解するために必要な知識や保育園での実際の様子から子どもの背景に目を向けていくことの意味について概説する。

《参考図書》

演習内で指定します。

《教科書》

指定しません。

《授業の到達目標》

1. 文献研究を通じて、子どもの発達・障害・家族支援について知識を得ることができる。
2. 発達障害の子ども達の保育現場での子ども理解の方法について知る。
3. 子どもの実態について文献を通して知ることから課題意識を持ち、主体的に考えることができる。
4. グループ発表を通して、テーマを設定し、問題解決の道筋を考える力を身につける。
5. 文献研究・調査を行い、分析しまとめる力、議論する力を身につけようとする態度を身につける。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度、グループ討議への参加状況）50%、課題（ワークシート等）50%

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：-
保育士：必修
備考：

《担当教員の実務経験と授業の関連》

中学校特別支援教育担当教諭、保健センター発達支援心理士として勤務。教育業務や保護者支援を通して、子どもやその保護者に関わってきた実務経験をもとに授業を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	1年間の演習の進め方とスケジュールについて／自身が取り組みたい課題を考える【30分】
2	ゼミ生との出会いとテーマとの出会い	1年間共に学び合うゼミ生と出会い、知り合う機会を通して、それぞれの思いを理解する。／自分自身が気になる子ども、取り組みたい課題を整理する【30分】
3	研究テーマを考える①	ワークショップを通じて、障害児保育について考える。／ワークショップのまとめ作成【30分】
4	研究の目的・方法の設定	ワークショップを通じて、発達障害をもつ子どもたちの乳幼児期の課題について考える。／ワークショップのまとめ作成【40分】
5	発達障害について ASDの理解を深める①	関連する映像の視聴と討論を行う。／映像記録の感想記入【30分】
6	発達障害について ASDの理解を深める②	関連する映像の視聴と討論を行う。／映像記録の感想記入【30分】
7	発達障害について ASDの理解を深める③	さまざまな事例を通しての保育の在り方について話し合う。／事例を通して考えたことをまとめる。【30分】
8	発達障害について ADHDの理解を深める①	関連する映像を視聴しその内容について討論する。／映像記録の感想記入【30分】
9	発達障害について ADHDの理解を深める②	関連する映像を視聴しその内容について討論する。／映像記録の感想記入【30分】
10	発達障害について LDの理解を深める①	関連する映像を視聴しその内容について討論する。／映像記録の感想記入【30分】
11	発達障害のある子どもの 感覚運動遊び①	感覚運動遊びのワークショップを通して発達を促す運動について理解する。／ワークショップのまとめ作成【30分】
12	発達障害のある子どもの 感覚運動遊び②	感覚運動遊びのワークショップを通して発達を促す運動について理解する。／ワークショップのまとめ作成【30分】
13	個別のテーマを考える①	後期の保育実践演習に向けて、各自が取り組むテーマについて考える。／テーマに即した書籍を探す。【30分】
14	個別のテーマを考える②	【研究課題】後期の保育実践演習に向けて、各自が取り組むテーマについて考える。／テーマに即した書籍を読んで整理する。【90分】
15	個別のテーマを考える③	【研究課題】後期の保育実践演習に向けて、各自が取り組むテーマについて考える。／テーマに即した書籍を読んで整理する。【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 A				
担当者氏名	糠野 亜紀				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

1回生で開講されている「保育の心理学Ⅰ」を中心に、振り返りを行う。理解できていないことに目を向けながら、子どもの発達について学びの深化を図る。必要に応じて不足している知識や能力を補い、定着を図る。この科目では、以下の4点の育成を目的としている。

- ①自ら探究し、自分の意見や考えを構築する。 ②自分の考えを他者に伝える。
③他者の考えを理解する。 ④自分の考えを広げ、「問題解決」の視点をもつ。
これらの力を基に、社会性やコミュニケーション力の育成を図り、保育者としての資質の向上を目指す。

《参考図書》

特になし

《教科書》

適宜、プリント・資料を配付。

《授業の到達目標》

1. 保育に関わる科目横断的な学習能力を習得する。
2. 保育における現代的課題について分析することができる。
3. 諸問題への対処法、解決を導くための方法論を習得する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

小グループによるディスカッションやグループ発表のプログラムがあり、積極的な参加を必要とする。
平常点（授業態度）50% 発表の内容30% 課題（提出物）20%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	シラバス（授業内容、到達目標）の確認 提出されている「研究計画書」の確認を行う/研究計画書の見直しをする【30分】
2	乳児に関する理解	乳児に関するこれまでの学びを確認し、実践を通じた理解を深める/保育の心理学で学んだことの復習を行う【30分】
3	幼児に関する理解	幼児に関するこれまでの学びを確認し、実践を通じた理解を深める/保育の心理学で学んだことの復習を行う【30分】
4	保育に関わる課題(1)	これまでの経験を基に、保育に関わる課題を取り上げ、問題点を検討する/保育に関わる課題を探す【30分】
5	保育に関わる課題(2)	(1)で取り上げた課題について意見交換を行い、理解を深める/意見交換した内容を自分なりに整理しておく【30分】
6	研究テーマの選定	上記(1)(2)で学んだ内容をふまえ、自分の関心のあるテーマを選び、調査方法を検討する/調査方法について考えておく【30分】
7	研究テーマの発表準備	発表の方法（プレゼンテーション）について学ぶ/議論を基に、再考する【30分】
8	研究テーマの発表	発表を通して、研究内容について議論を行う/発表の準備をする【30分】
9	研究論文について	研究論文の書式や、書き方について学ぶ/講義内容をまとめておく【30分】
10	研究方法について	研究の方法について学ぶ/自分の研究方法について考える【30分】
11	先行研究からの理解	過去の研究の内容を読み取り、課題を導き出す/過去の論文を読む【30分】
12	研究の進め方(1)	研究に必要な文献検索や資料収集の方法を学ぶ/自分なりに資料を集める【30分】
13	研究の進め方(2)	先行研究の分析を行う/集めた資料（先行研究）を熟読する【30分】
14	研究計画の発表準備	【課題研究】前回の発表をふまえ、効果的なプレゼンテーションについて学ぶ/発表の準備をする【90分】
15	研究計画の発表	【課題研究】自分自身の研究についての精度を上げる。また、仲間の発表を通して、他者の考えを理解する力の陶冶と自分の考えを広げることを目指す。/自分自身の研究テーマの方向を考える【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	小谷 朋子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期のテーマ：「音とは何か、音楽とは何か」

私たちの身の回りには、音・音楽があふれています。私たちにとって、音楽とは一体どのような存在なのでしょう。私たちが生きていくうえで、音楽の及ぼすどのような影響が必要不可欠とされるのでしょうか？本授業では、サウンドスケープ（音風景、すなわち自然環境等の音を聴きに出かけて音をスケッチする活動）や、オルフ楽器（幼児の為に考案された楽器）でのわらべうたアンサンブル等の音体験を通して、耳と心で音を感じていきます。「音・音楽と子どもの関係性」について活発な意見交換をしながら、子どもの発達を重視した音楽活動によってもたらされる音楽の影響力を追求していきます。

《授業の到達目標》

1. 日ごろから積極的に多様な音楽に触れる習慣をつけ、“音楽”の魅力を伝えることの大切さを認識し、思考する力を身につける。
2. 心と音楽は、切り離すことができない関係であることから、幼児音楽の重要性を理解する。
3. 保育実践力につなげるための、豊かな創造力と音楽表現力を身につける。

《成績評価の方法》

課題（レポート）40%、発表40%、平常点（受講態度等）20%

《参考図書》

演習内で、必要に応じて指示。

《教科書》

随時、必要に応じて資料を配付する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	ガイダンス	本演習における概要説明を行う「音楽」と他領域の関係性について、考える/乳幼児音楽教育において、子どもに伝えられることを整理しておく【30分】
2	“音楽”とは何であるか①	そもそも“音楽”とはいかなるものであるかについて議論する/音楽と聞いて想像するものやことを整理しておく【30分】
3	“音楽”とは何であるか②	“本当の音や音楽”とはどのような存在かを考える/日ごろ聴いている音楽を改めて響きを意識して聴く【30分】
4	楽器の存在の意義①	楽器の起こりを歴史的文化的背景から学び、人が生きるうえで必要としてきた楽器の意義を問い直す/時代とともに変容してきた様々な楽器に関する資料を読んでおく【30分】
5	楽器の存在の意義②	子どもの“楽器のかかわり方”について知る/子どもの頃に手にした様々な楽器を通しての音楽活動を思い出しておく【30分】
6	なぜ人は歌うのか①	世界中の国で人は皆歌う。歌う行為そのものの意義について考える/何が、人を歌わせようとしているのかを自分の歌う経験をもとに検討する【30分】
7	なぜ人は歌うのか②	人が歌うことにより、何が生まれるのであろうかを考える/人が歌う歴史的背景に関する資料を収集する【30分】
8	音楽を感じるということ①	音や音楽を聴くということについて、深く知る/実習中に見たり感じた子どもの音楽活動の場面を思い出しておく【30分】
9	音楽を感じるということ②	感覚、心、気持ちは、音楽を聴く行為においてどのように関わるのかを考える/音や音楽を聴くことについて、自分の経験から考えをまとめる【30分】
10	幼児音楽において大切にされるべきこと①	子どもの音楽的感覚とはどういうことなのか学ぶ/日本の幼児音楽教育にかかわる資料を収集する【30分】
11	幼児音楽において大切にされるべきこと②	“子どものための音楽”と“子どもの音楽”との相違点は何であるのかを考える/海外の幼児音楽教育にかかわる資料を収集する【30分】
12	幼児音楽において大切にされるべきこと③	子どもの音楽活動を考えるにあたり、どのような点に目を向けるべきかを考える/日本の幼児音楽教育にかかわる資料をもとに問題点を整理する【30分】
13	個別のテーマ①	保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマについて考える/日本の幼児音楽教育にかかわる資料をもとに問題点を整理し、解決策を検討する【30分】
14	個別のテーマ②	【課題研究】保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマについてまとめる/現代の日本の幼児音楽教育にかかわる問題の所在を検討する【90分】
15	個別のテーマ③	【課題研究】保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマについて発表する/現代の日本の幼児音楽教育にかかわる問題の所在と研究テーマをつくる【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	ト田 真一郎				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「どの子どもも光り輝く保育」は全ての保育者に共通の目標ではないでしょうか。しかし、現実には、仲間関係の中で、社会的な差別の結果、さまざまなしんどさを抱えさせられ、光り輝けない状態に追い込まれている子がいます。このような問題意識に立った時、乳幼児の人権を守る社会環境を作ること、乳幼児期において豊かな人権感覚を育むこと、健康的な自己意識を育むこと、肯定的な他者認識を育むことは、「どの子どもも光り輝く保育」を実現する為の基礎だと言えるのではないのでしょうか？
このような思いから本演習では、次のような展開で「人権とは何か」と考え、それをもとに、「人権保育カリキュラム」の在り方を追求していきます。

《授業の到達目標》

1. さまざまな子どもの人権に関わる問題を「自分の問題」として課題意識を持ち、主体的に考えることができる。
2. 「マイノリティとマジョリティの関係」「子どもの権利」「人権保育の基本的考え方」の諸点について理解する。
3. 子どもの人権にかかわる諸問題について、当事者・実践者の声を聞き、理解しようとする態度を身につける。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度、グループ討議への参加状況）50%、課題（ワークシート等）50%

《参考図書》

演習内で指定します。

《教科書》

指定しません。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

保育現場での勤務経験や自治体における同和問題解決に関わる協議会の委員としての経験をもとに、人権尊重の視点についての授業を行います。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	1年間の演習の進め方とスケジュールを確認しましょう/自身が取り組みたい課題を考える【30分】
2	多様なゼミ生との出会いとテーマとの出会い	1年間共に学び合うゼミ生と出会い、知り合う機会を通して、人々の多様性を理解しましょう/自身が取り組みたい課題を整理して記入【30分】
3	「自分」「社会」「人権」の関係を考える①	ワークショップを通じて、自分と社会と人権の関係を考えましょう/ワークショップのまとめ作成【30分】
4	「自分」「社会」「人権」の関係を考える②	ワークショップを通じて、自分と社会と人権の関係を考えましょう/ワークショップのまとめ作成【30分】
5	「自分」「社会」「人権」の関係を考える③	関連する映像の視聴と討論を行います/映像記録の感想記入【30分】
6	「自分」「社会」「人権」の関係を考える④	関連する映像の視聴と討論を行います/映像記録の感想記入【30分】
7	「当事者」の声を聴く①	さまざまな人権問題の当事者の話を聴き、話し合います/授業の感想の記入【15分】
8	「当事者」の声を聴く②	さまざまな人権問題の当事者の話を聴き、話し合います/授業の感想の記入【15分】
9	子どもの権利を考える①	「子どもの権利条約」の子ども向けの啓発ポスター作成を通して、子どもの権利を考えましょう/子どもの権利条約のポスター作成【60分】
10	子どもの権利を考える②	「子どもの権利条約」の子ども向けの啓発ポスター作成を通して、子どもの権利を考えましょう/子どもの権利条約のポスター作成【60分】
11	人権保育の実践に学ぶ①	保育現場でのフィールドワークを通じて、人権保育のあり方を学びましょう/保育現場での経験のまとめ記入【30分】
12	人権保育の実践に学ぶ②	保育現場でのフィールドワークを通じて、人権保育のあり方を学びましょう/保育現場での経験のまとめ記入【30分】
13	個別のテーマを考える①	後期の保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマを考えましょう/テーマに即した書籍を探す【30分】
14	個別のテーマを考える②	【課題研究】後期の保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマを考えましょう/書籍を読んで整理【90分】
15	個別のテーマを考える③	【課題研究】各自が取り組みテーマを決定し、研究構想を発表しあいましょう/書籍を読んで整理【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	白井 由希子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「保育現場での情報技術の活用方法」と「保育ドキュメンテーション」をテーマとする。現在、あらゆる場面で情報技術が利用されているが、それぞれの技術には一長一短があるため、いかにうまく活用できるかは利用者の力量が重要となる。本演習では、情報技術の特徴を理解する力、各場面において適切な情報技術を選ぶ力、活用する力の習得を目指す。また昨今の保育現場では、保育ドキュメンテーションを使った保育が注目をあびている。本演習の中で、保育ドキュメンテーションを様々な視点から捉え、その作成・活用方法について検討する。こうした活動は自分自身の保育観を見つめ直す機会にもなる。メンバーとも意見を交わしながら、自分の目指す保育を一緒に考えていく。

《授業の到達目標》

- ・保育に関する科目横断的な学習能力を習得し、その意味を理解する。
- ・保育に関する課題を見つけ、それを解決する方法を検討し、実践できる力を習得する。
- ・自らの学びをふり返り、保育者として必要な知識・技能を考え、自分自身の保育力を高める。
- ・他のメンバーと協力し、目標に向けて進むために必要なことを考え、実行できる力を習得する。

《成績評価の方法》

課題（提出物）50%、発表30%、平常点（受講態度・課題などに取り組む姿勢）20%

《参考図書》

必要に応じて、授業内で紹介します。

《教科書》

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

白井：学校法人私立幼稚園での実務経験をもとに保育・教育現場における情報技術の活用について演習を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	ガイダンス	研究テーマの決定に向けて/保育実践演習発表会と授業概要をもとに、1年間の予定を把握する。自分が研究してみたい内容を早く見つけ、方針を立てていけるよう、興味のあることを深く考えてみる。【30分】
2	研究テーマの選択に向けて①	パワーポイントを使った映像あそび/パワーポイントを使った映像あそびの例を参考に、実際に一つの映像を作る。その中で保育現場での活用方法を考える。【30分】
3	研究テーマの選択に向けて②	アナログとデジタルの組み合わせ/アナログにデジタルが加わることでできる世界観を楽しむ。それぞれのよさを味わいながら、それらが引き立つような活用方法を考える。【30分】
4	研究テーマの選択に向けて③	紙芝居作り/いろいろな紙芝居があることを知る。情報技術を使って紙芝居を作成し、子どもたちとのあそびの活用例を考える。【30分】
5	研究テーマの選択に向けて④	プログラミング/プログラミングの基礎を学び、身近にあるものがプログラミングによって動いていることに興味を持つ。【30分】
6	研究テーマの選択に向けて⑤	保育ドキュメンテーション/保育ドキュメンテーションの内容と作成方法を整理する。本やインターネットから実際に保育ドキュメンテーションを使っておられる園の様子を調べる。【30分】
7	研究テーマの決定に向けて①	研究テーマの決定/第1回から第6回までをふり返り、興味のあるテーマを選択する。また、そこから自分なりのテーマになるよう、考えを進めていく。【30分】
8	研究テーマの決定に向けて②	研究テーマの決定/第7回の続きから始め、研究の方法と今後の予定を考える。【30分】
9	研究テーマの決定①	研究テーマの発表会に向けた準備/研究テーマの内容、方法、今後の予定をまとめ、整理をする。【30分】
10	研究テーマの決定②	研究テーマの発表会/他者の意見をもとに、必要に応じて研究テーマの内容を調整したり、新たに思いついた内容を加える。【30分】
11	後期に向けて①	研究の準備①/ある程度の方針がかたまったら、その内容にそって活動を進める。【30分】
12	後期に向けて②	研究の準備②/研究に必要な本を読んだり、インターネットで調べながら、研究を進める。【30分】
13	後期に向けて③	研究の準備③/現時点までの進捗状況を把握し、後期に向けた研究の予定を考える。【30分】
14	後期に向けて④	【課題研究】研究論文の作成①/研究テーマの背景として、テーマに関する本を読んでまとめたり、インターネットで調べたことをまとめ、整理する。【90分】
15	後期に向けて⑤	【課題研究】研究論文の作成②/研究テーマの動機、方法など現時点までの活動内容をまとめる。【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	高村 公一				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「期待される保育者像」とは、どのような姿でしょうか。どのような保育者が「子どもの笑顔と成長」を引き出し、導き、守ることができるのでしょうか。この授業は、自分を見つめ直すことから始めます。対人援助職としての保育者をめざすためには、まず「己を知ること」が大切です。また、フレーベル、倉橋惣三など先人の思想やこれまでに会った人たちからも、保育者としてのあり方を学びます。子どもの人権について考えるワークショップや、教育・保育現場の方々の実践や講義などからも「期待される保育者像」を、そして「自らがめざす保育士像」を追究しましょう。授業では、アクティブラーニングとして、グループワークやディスカッションを行います。

《授業の到達目標》

1. 「期待される保育者像」を追究し、それを「自らがめざす保育者像」とリンクさせ、課題意識をもち、主体的に考えることができる。
2. 先人の唱える理想とされる保育者としてのあり方を理解する。
3. 子どもの幸せにかかわる諸問題について、実践者の声を聞き、理解しようとする態度を身につける。

子どもの幸せに関わる問題について、日常的にアンテナを張り、関心をもって知ろうとする姿勢を高めましょう。「自らがめざす(なりたい)保育者像」について、具体の姿を思い描きながら自分の考えを構築していきましょう。

《成績評価の方法》

平常点(受講態度、グループ討議等への参加状況) 50%、課題(ワークシート等) 50%

《参考図書》

必要に応じて資料等を配付し、参考図書を紹介しします。

《教科書》

指定しません。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
 担当形態：単独
 幼稚園免許：－
 保育士資格：必修
 備考：アクティブラーニング実施

《担当教員の実務経験と授業の関連》

教育現場や教育行政の経験をふまえた実践事例の紹介や実践者との交流なども取り入れ、主体的に学ぶ授業です。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	授業概要や到達目標などを確認しましょう(学習内容や進め方は柔軟に対応)／自分が取り組みたい課題を考える【30分】
2	年間計画の作成	1年間ともに学び合うなかまとの交流をとおして、自らの課題を明らかにし、計画書を作成しましょう。／自分が取り組みたい課題を整理して記入【30分】
3	自己形成史を綴る①	自分史を綴り自己を見つめましょう／自己形成史作成【30分】
4	自己形成史を開く②	ワークショップをとおして、交流しましょう／ワークショップの振り返り作成【30分】
5	自己形成史を振り返る③	出会いについて見つめ直しましょう／授業の感想記入【30分】
6	自己形成史を振り返る④	保育士をめざす「己を知る」振り返りをしましょう／「己を知る」ことへの振り返り作成【30分】
7	フレーベルから学ぶ①	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
8	フレーベルから学ぶ②	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
9	倉橋惣三から学ぶ①	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
10	倉橋惣三から学ぶ②	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
11	東井義雄から学ぶ	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
12	坂村真民から学ぶ	文献 担当章の要旨発表を輪番で行いましょう／授業の感想の記入【30分】
13	実践者から学ぶ①	保育現場の実践者からお話を伺い、学びましょう／講義の感想 記入【60分】
14	実践者から学ぶ②	【課題研究】学校現場の実践者からお話を伺い、学びましょう／講義の感想 記入【90分】
15	個別のテーマを考える①	【課題研究】後期の保育実践演習Bに向けて、各自が取り組むテーマを考えましょう／後期に向け「子どもの権利条約」を読む【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 A				
担当者氏名	田村 みどり				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

保育所や幼稚園の生活を通して、子どもは色々な遊びを体験する。遊びは子どもにとって、なくてはならない、大切な活動である。0歳児～就学前の子どもの遊びをそれぞれの年齢の発達段階を踏まえてその時期に必要な遊びや援助の方法について、学ぶ。それぞれの年齢の子ども達がいきいきと輝き、「明日も又遊びたいな」と思う遊びの実態を知り、遊具制作をして、保育実践力を身につける。常磐会こどもセンターで実際に乳幼児がどのような遊具で遊んでいるかを学び、遊具制作に必要な知識を体得する。制作した遊具を常磐会こどもセンターで乳幼児と一緒に遊びを通して学ぶ。

《参考図書》

必要に応じて、随時配付する。

《教科書》

必要に応じて教材を配付する。

《授業の到達目標》

1. 乳幼児の発達を踏まえて、発達段階に応じた遊び提供が出来るように0歳児～就学前の子どもの発達を習得する。
2. 乳幼児の生活や遊びが就学前の学びであり、小学校教育の学びへとつながる事を主体的に考えることができる。
3. 現場で利用されている遊具を制作し、実際に遊ぶ中で、振り返りながら考察し知識や技術を習得していく。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

授業への取り組みを重視し、遊具制作やレポート提出も勘案して、総合的に評価する。
平常点（授業への取り組み）50%、課題・発表50%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

公立保育所の所長を経験する。子育て総合支援センターでつどいの広場事業を立ち上げて、子育て支援の必要性を学生と共に考えてこどもセンターで実践検証しながら解説をする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	授業内容について説明する。/住んでいる地域の子育て支援の施設を情報収集しておく【30分】
2	子どもの遊び実態	今の子どもの遊び実態と遊び環境について/乳幼児の遊び実態と遊び環境について情報収集しておく【30分】
3	子どもの遊び環境について①	乳児の遊び環境について学ぶ/常磐会こどもセンターの役割を理解しておく【30分】
4	子どもの遊び環境について②	幼児の遊び環境について学ぶ/常磐会こどもセンターで子育て親子の様子を観察して整理する【30分】
5	子どもの遊び環境について③	乳幼児の遊び環境についてアクティブラーニングをする。/アクティブラーニングに向けて資料収集や考えを整理しておく【30分】
6	子どもの発達を知る①	乳児の発達を知る/乳児の発達について学び、整理しておく【30分】
7	子どもの発達を知る②	幼児の発達を知る/幼児の発達について学び、整理しておく【30分】
8	子どもの発達を知る③	乳幼児の発達段階をつなぐ/乳児と幼児の学びが連続性している事や、個人差が大きい事を学ぶ【30分】
9	遊具制作①	乳児に必要な遊具制作をする/乳児の遊具制作に必要な材料等を準備しておく【30分】
10	遊具制作②	幼児に必要な遊具制作をする/幼児の遊具制作に必要な材料等を準備しておく【30分】
11	遊具制作③	グループで意見交流して必要な遊具制作をする/各グループで意見交流しながら、発達に応じた遊具制作が出来るように理解しておく【30分】
12	制作遊具を活用する	実際に制作した遊具を使って現場で遊ぶ/作成した遊具を常磐会こどもセンターで使用して子育て親子に提供して遊ぶ方法を考える。【30分】
13	研究発表①	発表内容について意見交換をする/前期で学んだ内容を再確認して整理しておく【30分】
14	研究発表②	【課題研究】発表内容と自己課題を振り返る/子育て支援の必要性と年齢発達に合った遊具制作の課題を振り返る【90分】
15	総括（まとめ）	【課題研究】前期のまとめと今後の課題と計画書を作成する/後期の論文作成に向けて課題整理しておく【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 A				
担当者氏名	恒川 直樹				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期テーマ:「子どものかわいさ・おもしろさ・ふしぎさ」を深く味わう。
 保育者の出発点には「子どもってかわいい、おもしろい、ふしぎ!」という気持ちがあります。その素直で素朴な気持ちを「保育者としての子どもへのまなざし」につなげていくには、子どもの魅力を深く追究して味わうことが必要です。また、なにげない子どものすがたにも様々な魅力を発見できる力を、保育者は持っています。このゼミでは、映像や文献を通して、また、こどもセンターや付属園などで乳幼児と関わりながら観察することを通して、子どもの様々な魅力を発見し、深く味わうための方法身につけていきます。そしてそれらを自分のことばやその他の方法で表現し、人と分かち合える力を育みます。

《授業の到達目標》

1. 子どもと関わりながら観察する方法の基礎を理解する。
2. 子どものすがたを自分のことばなどで表現し、他者と共有する力の基礎を身につける。
3. 子どもの魅力を発見し、深く追究して、保育者としてのまなざしへつなげようとする姿勢を持てる。

《成績評価の方法》

課題（課題研究①②）35%、平常点（授業内で取り組むワークシート）65%

《参考図書》

授業時に適宜紹介します。

《教科書》

プリント等を適宜配付します。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A 1 5
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	イントロダクション	ゼミの概要と進め方について／授業内で取り組んだワークシート①完成【30分】
2	子どもの魅力を探る (1)	絵画、写真等で捉えた子どものすがたから／授業内で取り組んだワークシート②完成【30分】
3	子どもの魅力を探る (2)	絵本等に描かれた子どものすがたから／授業内で取り組んだワークシート③完成【30分】
4	子どもの魅力に触れる (1)	ビデオ記録から観察する方法／授業内で取り組んだワークシート④完成【30分】
5	子どもの魅力に触れる (2)	ビデオ記録による子ども・子育て・保育の観察／授業内で取り組んだワークシート⑤完成【30分】
6	子どもの魅力に触れる (3)	観察した子どものすがたから (1) / 授業内で取り組んだワークシート⑥完成【30分】
7	子どもの魅力を探る (3)	映像（動画）で捉えた子どものすがたから／授業内で取り組んだワークシート⑦完成【30分】
8	子どもの魅力に触れる (4)	子どもと関わりながら観察する方法／授業内で取り組んだワークシート⑧完成【30分】
9	子どもの魅力に触れる (5)	関わりながらの、子ども・子育て・保育の観察／授業内で取り組んだワークシート⑨完成【30分】
10	子どもの魅力に触れる (6)	観察した子どものすがたから (2) / 授業内で取り組んだワークシート⑩完成【30分】
11	子どもの魅力語る (1)	子どもについて表現し共有する方法 (1) 口頭によるカンファレンス／授業内で取り組んだワークシート⑪完成【30分】
12	子どもの魅力語る (2)	子どもについて表現し共有する方法 (2) 文章によるエピソード記述／授業内で取り組んだワークシート⑫完成【30分】
13	子どもの魅力語る (3)	子どもについて表現し共有する方法 (3) 「かるた」／授業内で取り組んだワークシート⑬完成【30分】
14	子どもの魅力を探る (4)	【課題研究】 文章で表現された子どものすがたから／課題研究①の完成【90分】
15	子どもの魅力語る (4)	【課題研究】 子どもについて表現し共有する方法 (4) 省察から保育者のまなざしへ／課題研究②の完成【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	土田 幸恵				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

食育は子どもの心身の健康を保つだけでなく、人との関わりを通して社会的健康を培いながら、食の文化と環境との関わりをなかで、いきいきとした生活を送るために必要な「食のスキル」を身につけていくためにも重要である。この演習では、子どもの食をとりまく環境について調査結果や文献などから問題点を抽出し、その実態を把握し、解決法を検討する。さらにグループに分かれてテーマを決めて解決法を探り、食育の実践につなげる（アクティブラーニング）。また、食や栄養に関する様々な研究方法について学ぶ。

《参考図書》

『子どもの食と栄養演習ブック』松本峰雄監修（ミネルヴァ書房）

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 子どもの食を取り巻く環境について問題点を抽出できる。
2. 選んだ研究テーマから先行研究についての文献を調査し、レビューすることができる。
3. 食や栄養に関する様々な研究方法（質問紙調査や調理科学的実験、食品の官能評価、食事調査、食教材の評価等）について理解する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修
 備考：アクティブラーニング実施

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・発表等）50%、課題 50%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	オリエンテーション、研究テーマに関する課題の説明／文献を集める【30分】
2	課題の抽出①	子どもの食を取り巻く環境に関連する文献を紹介する／文献を読み、レビューする【60分】
3	課題の抽出②	子どもの食を取り巻く環境に関連する文献を紹介する／文献を読み、レビューする【60分】
4	調査研究の方法①	食事摂取頻度調査や食事バランスガイドを利用した食事の評価方法／前年度の研究論文を読んでおく【30分】
5	調査研究の方法②	食事摂取頻度調査や食事バランスガイドを利用した食事の評価方法／前年度の研究論文を読んでおく【30分】
6	調査研究の方法③	官能評価法を用いた食品の評価方法（おやつの評価）／幼児期のおやつに関する資料を集めておく【30分】
7	調査研究の方法④	官能評価法を用いた食品の評価方法（おやつの評価）／幼児期のおやつに関する資料を集めておく【30分】
8	調査研究の方法⑤	官能評価法を用いた食品の評価方法（おやつの評価）／試作したおやつを評価しまとめる【30分】
9	教材研究の方法①	対象年齢、ねらい、内容を設定する／幼児期の食育に関する資料を集めておく【30分】
10	教材研究の方法②	食育教材の作成／作成する教材を考えておく【30分】
11	教材研究の方法③	食育教材の作成／食育教材を作成する【30分】
12	研究計画①	テーマの決定、研究計画書の作成／テーマを決定し、研究計画書を作成する【30分】
13	研究計画②	研究計画書の作成および発表／研究計画書を作成する【30分】
14	文献研究①	【課題研究】研究テーマに関する先行研究を紹介しレビューする／テーマに関する文献を集めておく【90分】
15	文献研究②	【課題研究】研究テーマに関する先行研究を紹介しレビューする／文献レビューのレジюмеを作成する【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 A				
担当者氏名	原田 邦子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

日本には昔から伝わる遊び、けん玉・折り紙・鬼ごっこ・わらべうたあそび等々の伝承遊びがある。これらの遊びには、子どもたちの様々な力を育てていく良さがある。それぞれの遊びには、その遊びの持つ意味合いがあり、昔の人たちが子育ての中で子どもの育ちに合わせ、いろいろな遊びを取り入れて現代に伝えられてきている。しかしながら、現代は、このような遊びを楽しむ場所もなく、子どものあそぶ姿は、あまり見られなくなった。子どもを取り巻く環境の変化だけでなく、携帯ゲームの出現など遊びの質的な変化も挙げられる。子どもたちの心身を豊かに育んできた伝承遊びを見つめなおし保育の中に取り入れ発展させていくために実践を通じて学びから知識・技術の習得を目指す。

《授業の到達目標》

1. 伝承遊びの成り立ちやその遊びのもつ意味合いや遊びにより育つ力について、いろいろな書籍・資料などを基に情報を集め知識を習得し理解していく。
2. 伝承遊びにはどのようなものがあるか、学生自ら調べ、遊びや体験を通してその楽しさや面白さを体感する。
3. 常磐会こどもセンターや保育園等での乳幼児の伝承遊びの様子を見て学ぶと共にその意義について検証を行う。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・グループワークへの参加度）20%
課題（提出物・レポート）50%、実践活動への参加態度30%

《参考図書》

『遠野のわらべ唄の語り伝え 呼びかけの唄』（エイデル研究所）『歌とリズムで伝承あそび』（一声社）『新訂わらべうたであそぼう』（ゴダーイ芸術教育研究著）

《教科書》

随時、必要に応じて指示する。必要に応じて資料配付する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	「保育実践演習」の授業概要について確認する/伝承遊びについての知識や自分が経験したあそびについて書き出ししておく【30分】
2	今の子どもたちのあそびの実態と環境	子どもたちの遊びの実態を考え資料や情報をもとに意見交流する/乳幼児の遊びの実態について情報収集する【30分】
3	伝承遊びとは①	どんな遊びを伝承遊びというのか情報交流する/具体的な遊びを書籍等で情報収集する【30分】
4	伝承遊びとは②	伝承遊びについての理解と意義伝承遊びについての資料や情報収集した内容を読み理解を深める/伝承遊びについての資料や情報収集した内容を読み理解を深める【30分】
5	伝承遊びとは③	収集した情報を交流し具体的な遊びを知るわらべ歌あそび・けん玉・お手玉・折り紙等/具体的な遊びや遊び方について書籍やインターネットなどで情報収集する【30分】
6	伝承遊びについて	具体的な遊びの内容に沿って分類しグループに分かれ意見交流する/具体的な遊びについてグループで役割分担し調べる【30分】
7	あそびの紹介と実践①	具体的な遊びを体験し意見交流する/遊びの実践を通して子どもの育つ力との関連性を考える【30分】
8	あそびの紹介と実践②	具体的な遊びを体験し意見交流する/遊びの実践を通して子どもの育つ力との関連性を考える【30分】
9	あそびの紹介と実践③ 実習体験報告	具体的な遊びを体験する実習での遊びの現状や実践についての報告し、意見交流する/実習園での伝承遊びの取り組み状況や自らの実習体験を記録用紙に記入しておく【30分】
10	あそびの紹介と実践④	支援センターで親子のふれあい遊びの実践に向け内容等について検討する/常磐会こどもセンターの役割を理解しておく/ふれあい遊びの練習をする【30分】
11	あそびの紹介と実践⑤	親子のふれあい遊びの実践をする/常磐会こどもセンターの親子の様子の観察と、ふれあい遊びの実践について記録する【30分】
12	あそびのまとめ①	グループごとに保育実践につなげられる具体的なまとめの方法を検討する/役割分担し情報収集した遊びの整理をする【30分】
13	あそびのまとめ②	各グループで意見交流し、あそびを収集する/前期で学んだ内容を再確認しておく【30分】
14	あそびの冊子づくり	【課題研究】保育実践につなげられる具体的な遊びや手づくりおもちゃを作製する/テーマに即した書籍・資料を探す【90分】
15	まとめ	【課題研究】各グループで作成した具体的な遊びのまとめの紹介と後期の研究テーマ設定/後期の研究テーマについて考え書籍を読んだり資料に目を通し準備しておく【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	中村 妙子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

子どもが誕生してから6～7歳ぐらまでは、「言葉」や「ものを見る力」など、感性の基や考える力の基を創る大切な時期であると考えます。一冊の絵本体験が第一歩となり、生活習慣として絵本に触れることが定着すると自然に言葉を身につけ、聴く喜びにつながります。とても“あたりまえのこと”だけど、読み語る大人が子どもとともに楽しめる質の高い絵本を選択して、実践検証をしていきます。絵本あれこれを深読みし、一粒の種をまくことが、好奇心の芽となり、心育てにつながることを現場の保育者の声やアンケートなども取り入れまわめていきます。大きく3期に分け、「絵本ファイル」を作成します。

《参考図書》

かがくのとものもと (福音館)

《教科書》

特になし※必要に応じてプリント等の資料を配付する。

《授業の到達目標》

1. 子どもの視点になって絵本を読み語る。主体的に対話して深く学ぶ
2. わたし(自分)の「絵本論」と発達に応じた質の高い絵本選択を考察する
3. わたしの(自分)絵本ファイルと他者からフィードバックした絵本ファイルをまとめる
4. ポスター(模造紙1枚)にまとめて発表する

《科目番号/担当形態/免許資格の必修区分/備考》

科目番号: A15
担当形態: クラス分け
幼稚園教諭: -
保育士: 必修

《成績評価の方法》

平常点(受講態度等)30%、絵本ファイル作成40%
発表(読み聞かせ、ポスター)30%、

《担当教員の実務経験と授業の関連》

付属幼稚園教諭・園長、認定こども園等の勤務経験をもとに、絵本作家との連携や実践的なアドバイスを行う

《授業計画》

週	テーマ	学習内容/学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	1年間の演習の進め方とスケジュールを確認 名前絵本を作って自己紹介、一押し絵本紹介/自身が取り組みたい課題を考える【30分】
2	絵本ファイル計画	自身が取り組みたい課題を整理して記入/絵本あれこれ楽しもう! 絵本ファイル作成の工程・作成開始/絵本ファイルの内容、構成を考える【30分】
3	絵本ファイル作成	1枚目の絵本ファイル、お気に入りの絵本を選んで構成に添ってパソコン入力(表紙写真撮影、内容、ポイント記入)【30分】
4	絵本ファイル作成	絵本読み聞かせ映像を見てワークショップ→質の高い絵本「物語絵本」を選ぶ、絵本ファイル作成【30分】
5	絵本ファイル作成	質の高い絵本「物語絵本」を選ぶ、絵本ファイル作成【30分】
6	質の高い絵本絵本ファイル作成	遠隔授業→絵本ファイル作成【90分】 アンケート、インタビュー計画を立てる→情報収集(種まき)
7	質の高い絵本絵本ファイル作成	遠隔授業→教育課程(絵本環境)と保育者のおすすめ絵本から選定/絵本ファイル作成【90分】
8	質の高い絵本とは	教育課程(絵本環境)と保育者のおすすめ絵本(アンケート、インタビュー)の検証/保育現場からのフィードバックを入力・絵本ファイル作成【30分】
9	絵本に親しむ環境評価	付属幼稚園にて絵本に親しむ評価スケールを実施(図書コーナー)カテゴリー別にチェック/新・保育環境評価スケール①、③の配布資料に目を通して【30分】
10	I期をまとめる 絵本作家仕事場訪問	絵本ファイルの整理/I期の振り返り、絵本ファイル整理10枚 絵本作家(さいとうしのぶさん)の仕事場訪問に訪問して絵本作りの工程を学ぶ、インタビューする【30分】
11	かがくのともは、絵本?!	かがくはおもしろい!たのしい!ふしぎな世界ページをめくることで伝わる絵本の深読み/絵本を見てやってみたくなる、試したくなる心わくわくを探そう!【30分】
12	かがくのともは、絵本?!	子どもたちの身とまわりのかがく絵本探し/絵本ファイル作成【30分】
13	かがくのともは、絵本?!	いろいろな視点の科学を切り取る/テーマに即した書籍を探す、絵本ファイル作成【30分】
14	課題研究による授業保障①	テーマに即した書籍を探す/絵本ファイルの整理→15枚を目指す!【90分】
15	課題研究による授業保障②	科学絵本と普通の絵本との差はどこに根本的な差があるのかを検証する./絵本ファイルの整理→15枚を目指す!【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	平野 真紀				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

子どもは遊びを通して自主的にものや環境とかかわろうとしたり、ものや環境の特質を感じたりする。そのような環境の中で自らの感覚や感性を揺り動かしながら体験や学びの幅を広げていく。

そのため造形教材や絵本を使った保育実践は、このような、ものや環境と子どもをどのように出会わせ、どのように展開させていくかという視点を常に持たなければならない。従ってこの授業では、文献検索や実践経験を通して、以下のような子どもの感覚や感性をゆさぶる造形や絵本、その環境づくりについて解説する。

《参考図書》

なし

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 子どもにふさわしい造形遊びや絵本について理解する。
2. 子どもの遊びを促す造形教材と絵本の構造について理解する
3. 造形遊びや絵本制作と読み聞かせの実践について理解する。
4. 研究経過を振り返り造形実践や絵本の読み聞かせについて理解する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

平常点（受講態度）20%、発表30%、課題（提出物・レポート）50%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

私立幼稚園教諭として勤務。実務経験をもとに表現の多様性について授業を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	保育と造形遊び	造形表現活動を調べて実践する。/研究したい文献を探し、造形遊びの案を検討しておく【30分】
2	保育と造形遊び	造形表現活動を調べて実践する。/研究したい文献を探し、造形遊びの案を検討しておく【30分】
3	保育と造形遊び	造形表現活動を調べて実践する。/研究したい文献を探し、造形遊びの案を検討しておく【30分】
4	造形遊び保育案の検討	造形表現活動を調べて実践する。/研究したい文献を探し、造形遊びの案を検討しておく【30分】
5	造形保育の実践	造形表現活動を調べて実践する。/造形遊びの実践課程をまとめておく【30分】
6	造形保育の実践	造形表現活動を調べて実践する。/造形遊びの実践課程をまとめておく【30分】
7	発表とまとめ	表現活動の実践を発表し、まとめる/絵本の構造について考察して整理しておく【30分】
8	絵本の内容と構造	ねらいに応じた絵本の構造を学ぶ/絵本で使用される色や形に関する構造について考察して整理しておく【30分】
9	絵本の内容と構造	絵の色や形に関する構造を学ぶ/しかけ絵本の構造について考察して整理しておく【30分】
10	絵本の内容と構造	しかけ絵本の構造を学ぶ/絵本を製作できるように準備しておく【30分】
11	絵本の制作	絵本の試作/絵本を製作できるように準備しておく【30分】
12	絵本の制作	絵本の試作/絵本を製作できるように準備しておく【30分】
13	絵本の制作	絵本の試作/実践する内容を確認しておく【30分】
14	絵本読み聞かせ実践	【課題研究】保育現場を踏まえた実践研究/実践の振り返りをまとめておく【90分】
15	絵本読み聞かせ実践	【課題研究】実践後の振り返りとまとめ/研究経過をまとめておく【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	村上 成治				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

昔は「あそび」の中で運動の基礎となる動きを学習していき、その運動経験の蓄積と成功体験を基に合目的な身体の動きへと発達させてきた。そして、その動きの記憶は新しく覚えようとする運動に類似した動きの感覚を呼び起こさせ、重ね合わせることで新しい運動を覚えていくのである。しかしながら、このような運動経験を蓄積していく時間も場所も年々減少してきている現在、子どもたちが安全に遊ぶことのできる場は保育の現場に託されてきていると考えられる。このような考えから本演習では、運動学習の基礎理論や創造性を解説し、運動指導に求められる基礎的な考え方を理解することを目的とする。

《参考図書》

演習内で紹介。

《教科書》

指定なし。

《授業の到達目標》

1. 運動について考え、理解する。
2. 運動における動きの発生と伝承について考え、運動学習のプロセスを理解する。
3. 運動学習の意味について考え、理解する。
4. 「できる」という喜びに内発される意欲づくりについて考え、どのようにすれば子どもが主体的に運動経験を積み環境を作り運動指導ができるかを理解する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

平常点（受講態度、グループ討議への参加状況等） — 50%
課題（レポート等） — 50%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	1年間の演習の進め方とスケジュールの確認/自身の課題を模索する【30分】
2	「遊び」に関する情報の共有	研究室のゼミ生たちと自分の子どもの頃に遊んだ「遊び」の話を通じて情報を共有する/自身の経験してきた「遊び」を列挙する【30分】
3	「遊び」の運動構造を考える	各「遊び」に表れる運動構造を考え、分類する/各「遊び」の特徴から構造を分析する【30分】
4	「スポーツ」の運動構造を考える	各「スポーツ」に表れる運動構造を考え、分類する/各「スポーツ」の特徴から構造を分析する【30分】
5	「遊び」と「スポーツ」の類似性を考える	「遊び」と「スポーツ」の運動構造を基に類似性を考慮して分類する/運動の類似性を整理【30分】
6	動きの構造を考える①	参考文献を基に動きの構造に関してディスカッションする/動きの構造を整理しまとめる【30分】
7	動きの構造を考える②	参考文献を基に動きの構造に関してディスカッションする/動きの構造を整理しまとめる【30分】
8	運動学習について考える①	参考文献を基に運動学習の意味について考えディスカッションする/運動学習の意味についてまとめる【30分】
9	運動学習について考える②	参考文献を基に運動学習の意味について考えディスカッションする/運動学習の意味についてまとめる【30分】
10	学習意欲について考える①	参考文献を基に運動を覚えるための学習意欲について考え、ディスカッションする/学習意欲を高めるポイントについてまとめる【30分】
11	学習意欲について考える②	参考文献を基に運動を覚えるための学習意欲について考え、ディスカッションする/学習意欲を高めるポイントについてまとめる【30分】
12	運動学習の創造性を考える	参考文献を基に運動感覚の類似性を理解し、創造過程を考える/運動指導の知見をまとめる【30分】
13	自身のテーマについて考える	後期の保育実践演習Bに向けて、自身が取り組む研究テーマを考え、決定する/運動指導に関する文献を読む【60分】
14	【課題研究】①文献・先行研究をまとめる	【課題研究】自身の研究テーマにあった文献や先行研究をまとめる/自身の探究したい事柄を整理する【90分】
15	【課題研究】②文献・先行研究をまとめる	【課題研究】自身の研究テーマにあった文献や先行研究をまとめる/研究方法や内容を整理する【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	山田 薫				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

遊びは、子どもの仕事生活そのものである。幼稚園教育要領や認定こども園教育・保育要領には、総合的な指導を行う中で自発的な活動としての遊びは、幼児期特有の学習であると示されている。保育所保育指針でも子どもが遊びに夢になる中で、思考力や企画力、想像力などを育んでいくと示されている。そこで、幼稚園や保育所、こども園での遊びを自分自身が体験し、遊びの楽しさを味わうと共に、遊びの種類や発達との関連性、展開の方法など、遊びの中での子どもの学びと、そこで育まれる非認知能力について分析していくことで、幼児教育の在り方を考え、保育者としての資質、実践力を身につけていく。

《参考図書》

演習内で適宜指定します。

《教科書》

特になし

《授業の到達目標》

1. 自分の実習日誌や、観察記録を見直し分析することで、子どもや遊びを観察する力をつける。
2. 子どもの発達と遊びの関係、展開方法を学ぶ。
3. 遊びの中の学びを分析することで、保育展開の工夫や実践力を身につける。
4. 集団での遊びの中で育まれる非認知能力について考える。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修
 備考：アクティブラーニング

《成績評価の方法》

平常点（受講態度、グループ討議への参加状況）40%、課題30%、発表30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	テーマに対する考え方とスケジュールの確認/実習の経験を元に遊びの種類を書き出す【30分】
2	子どもの遊びと発達	園生活の中での遊びを分析する/園生活の中での遊びを考えまとめておく【30分】
3	遊びの中の学びについて	いろいろな遊びを体験し学びと発達を考える/遊びの種類と発達の間関係をまとめる【30分】
4	室内遊びについて考える(1)	遊びの種類やルール、展開方法について考える/遊びの種類と発達の間関係をまとめる【30分】
5	室内遊びについて考える(2)	グループディスカッションによる意見交流/遊びの種類と発達の間関係をまとめる【30分】
6	戸外遊びについて考える(1)	遊びの種類やルール、展開方法について考える/遊びの種類と発達の間関係をまとめる【30分】
7	戸外遊びについて考える(2)	グループディスカッションによる意見交流/学習内容のまとめ【60分】
8	遊びの場면을記録し分析する	実習中に記録した遊びを分析する/実習の中で遊びの場면을記録する【30分】
9	記録を事例としてまとめる(1)	自分の分析した記録を発表事例としてまとめる/自分の記録を事例として考察し文章にまとめる【30分】
10	記録を事例としてまとめる(2)	自分の分析した記録を発表事例としてまとめる/自分の記録を事例として考察し文章にまとめる【30分】
11	事例を発表し合う(1)	発表と討議を行う/討議内容のまとめを行う【30分】
12	事例を発表し合う(2)	発表と討議を行う/自分の課題、テーマについて調べる【30分】
13	まとめ	各自が取り組む研究テーマについて発表し合う/前期学習のまとめと後期への目標を明確にする【30分】
14	個別のテーマを考える(1)	【課題研究】後期保育実践演習Bに向けてテーマを考える/自分の課題、テーマについてまとめる【90分】
15	個別のテーマを考える(2)	【課題研究】自分の取り組むテーマについてまとめる/発表後の意見のまとめを行う【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習A				
担当者氏名	吉見 英里				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

子どもが自由に体を動かす機会は、生活様式の変化や都市・少子化によって減少し、子どもの体力の低下が問題となっている。研究を通じて子どもを取り巻く環境と体力との関係について理解を深める。普段抱えている疑問から保育観をより意識し、課題解決を図ることに自ら学び、保育に役立てることができるよう探究する活動を行なう。保育実践演習Aでは、子ども運動能力に関する文献・資料をもとに個人学習、グループ学習および議論を行なう。どのような文献を読む必要があるかについては、受講者のテーマが確定した後、個別指導を行なう。

《参考図書》

適宜配布する

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 子どもの体力について知識を深めることができる。
2. 各種資料をまとめてレポートを作成することができる。
3. 選んだテーマについて自分の考えを論理的に述べることができる。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A15
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修
 備考：アクティブラーニング実施

《成績評価の方法》

授業出席を評価の前提とする。
 提出物（計画書・論文・抄録）70%、発表（パワーポイント・資料）30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	本演習の概要説明/資料収集を行なう【30分】
2	年間計画の作成	年間計画書を作成する/資料収集を行なう【60分】
3	先行研究の検討1	各自必要な論文を熟読する/資料収集を行なう【60分】
4	先行研究の検討2	各自必要な論文を熟読する/資料収集を行なう【60分】
5	先行研究の検討3	各自必要な論文を熟読する/資料収集を行なう【60分】
6	先行研究の検討4	各自必要な論文を熟読する/資料収集を行なう【60分】
7	先行研究の検討5	各自必要な論文を熟読する/資料収集を行なう【60分】
8	仮説の設定	これまで検討した研究課題について仮説を設定する/研究課題について仮説を設定する【60分】
9	研究方法の検討1	研究方法について検討する/仮説を証明する論文を調べておく【60分】
10	研究方法の検討2	研究方法について検討する/仮説を証明する論文を調べておく【60分】
11	統計処理の学習1	データ入力を行なう/データを入力しておく【60分】
12	統計処理の学習2	データ分析を行なう/入力したデータの分析をしておく【60分】
13	実験・調査の実施1	実験・調査の準備を行なう/実験・調査の準備を行なう【60分】
14	課題研究による授業保障回(1)	【課題研究】研究経過報告の原稿作成/原稿作成のための準備を行なう【90分】
15	課題研究による授業保障回(2)	【課題研究】研究経過報告を行なう/原稿作成のための準備を行なう【90分】